

# 令和2年度 栗原市男女共同参画に関する 中学生アンケート調査結果報告書



# 目次

## I 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査項目	1
3	調査期間・調査対象者	1
4	回収状況	1
5	報告書の見方	1

## II 調査結果

問1	あなたの性別について	2
問2	一緒に住む家族について	2
問3	家庭での手伝いについて	3
問4	あなたの親の職業について	4
問5	家庭の事柄の関わりについて	5
問6	家庭での仕事の役割分担について	6
問7	学校生活の中での男女差別について	9
問8	これまでに言われた経験について	11
問9	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」の考え方について	14
問10	身につけたい教育について	15
問11	将来就きたい仕事や職業について	17
問12	女性が職業を持つことについて	18
問13	働く目的について	19
問14	「男女共同参画社会」ということばについて	20
問15	「LGBT」ということばについて	21
	自由意見	22

# I 調査概要

---

## 1 調査の目的

栗原市内の中学2年生を対象とした男女共同参画社会に関する意識調査を行い、その結果を今後の事業や平成29年3月に策定した「第2次栗原市男女共同参画推進プラン」(平成29年度～令和8年度)の中間見直しを行うための基礎資料とする。

## 2 調査項目

- (1) あなたの性別について
- (2) 一緒に住む家族について
- (3) 家庭での手伝いについて
- (4) あなたの親の職業について
- (5) 家庭の事柄の関わりについて
- (6) 家庭での仕事の役割分担について
- (7) 学校生活の中での男女差別について
- (8) これまでに言われた経験について
- (9) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」の考え方について
- (10) 身につけたい教育について
- (11) 将来就きたい仕事や職業について
- (12) 女性が職業を持つことについて
- (13) 働く目的について
- (14) 「男女共同参画社会」ということばについて
- (15) 「LGBT」ということばについて
- (16) 自由意見

## 3 調査期間・調査対象者

- (1) 調査期間 令和2年11月16日(月)～12月11日(金)
- (2) 調査対象者 市内中学校2年生489人(令和2年11月1日現在)

## 4 回収状況

- (1) 回収数 455人  
(女子215人,男子235人,回答しない5人,その他0人,無回答0人)
- (2) 回収率 93.0パーセント

## 5 報告書の見方

- (1) 回答の比率(すべて百分率(%)で表示)は、その設問の回答者数を基数(件数)として算出しているため、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。
- (2) 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。

## Ⅱ 調査結果概要とまとめ

### 【問1】性別について

女性47.3%、男性51.6%、回答しない1.1%

### 【問2】同居家族について

母親95.8%、父親87.0%、兄弟・姉妹84.4%  
祖父母58.0%、おじ・おば8.4%、その他4.2%

### 【問3】家庭での手伝いについて

一番多いのが、「部屋の掃除」61.8%、次いで「食事の後片付け」60.4%、「食後の準備」48.8%の順となっている。

### 【問4】親の職業について

一番多いのが「会社員・公務員等（勤め人）」47.0%、次いで「自営業・自由業」24.6%

### 【問5】家庭の事柄の関わりについて

ほとんどの項目で、母親の（家庭の事柄の関わりの）割合が低くなっている。  
また、「母親」「父親」のほか「家庭内で協力している」選択肢を追加したところ、「ゴミ出し」「掃除」「子供世話やしつけ」について、「家庭内で協力」する割合が50%を上回った。

### 【問6】家庭での仕事の役割分担の考えについて

「家計の管理」と「日常の家事」の2つは、「母が中心になって受け持つ」が最も高い割合となっているが、その他の項目は「どちらも同じ程度受け持つ」が最も高くなっている。

#### ○まとめ

家庭内で協力することが、共働きがしやすい環境となることを理解しているのが分かる。

### 【問7】学校生活の中での男女差別について

女子・男子・回答しないともに「ほとんど感じない」割合が前回同様 最も高い。

### 【問8】これまでに言われた経験について

女子は「女の子はもっとお行儀よくしなさい」と言われた経験のある生徒の割合が最も高く57.2%、次いで「女らしくしなさい」55.3%が高い。

男子は「男のくせに泣くな」と言われた経験のある生徒の割合が最も高く41.7%、次いで「男なんだからもっと外で遊びなさい」28.9%が高い。

### 【問9】「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考えについて

「反対」の割合が高い。「反対」62.2% 「賛成」13.3%

#### ○まとめ

女性が活躍する場へ出ていくことの理解が広まってきているのが分かる。

### 【問10】将来どの程度まで教育を身につけたいと思っているか。

全体的にみると、「大学」が34.9%で最も高く、次いで「高校」25.3%、短大・専門学校22.43%の順となっている。

**【問11】 将来就きたい仕事や職業は何か。**

女子の1位は「看護師」、次いで2位が「公務員」

男子の1位は「スポーツ選手」、次いで2位が「公務員」

**【問12】 女性が職業を持つことについて**

全体的にみると、「本人の自由」が71.0%で圧倒的に割合が高く、前回の58.9%より12.1%高くなっている。

○まとめ

女性の社会進出に対して、本人の意思を尊重する考えを持つ方が増えてきているのが分かる。

**【問13】 何のために働きたいと思うか。**

全体的にみると、「家族や家庭のため」が最も高く28.4%、次いで「お金を稼ぎたいから」23.3%、「自分の生活のため」16.0%の順となっており、前回の順位と同様になっています。

その他の意見として「働いていない人が、とがめられている傾向にあるから」「好きなことをするため」「楽しむため」という意見がありました。

**【問14】 「男女共同参画社会」ということばの認知度について**

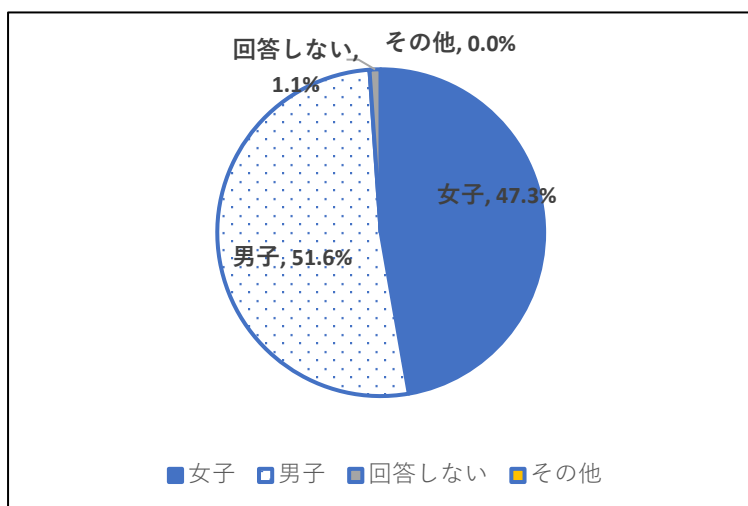
「男女共同参画社会」という言葉を「知っている」人の割合は37.8%で、「全く知らなかった」人の割合は62.0%となっている。

**【問15】 「LGBT」ということばの認知度について**

「LGBT」という言葉を「知っている」人の割合が56.9%で、「全く知らなかった」人の割合42.6%を上回っている。

## Ⅱ 調査結果

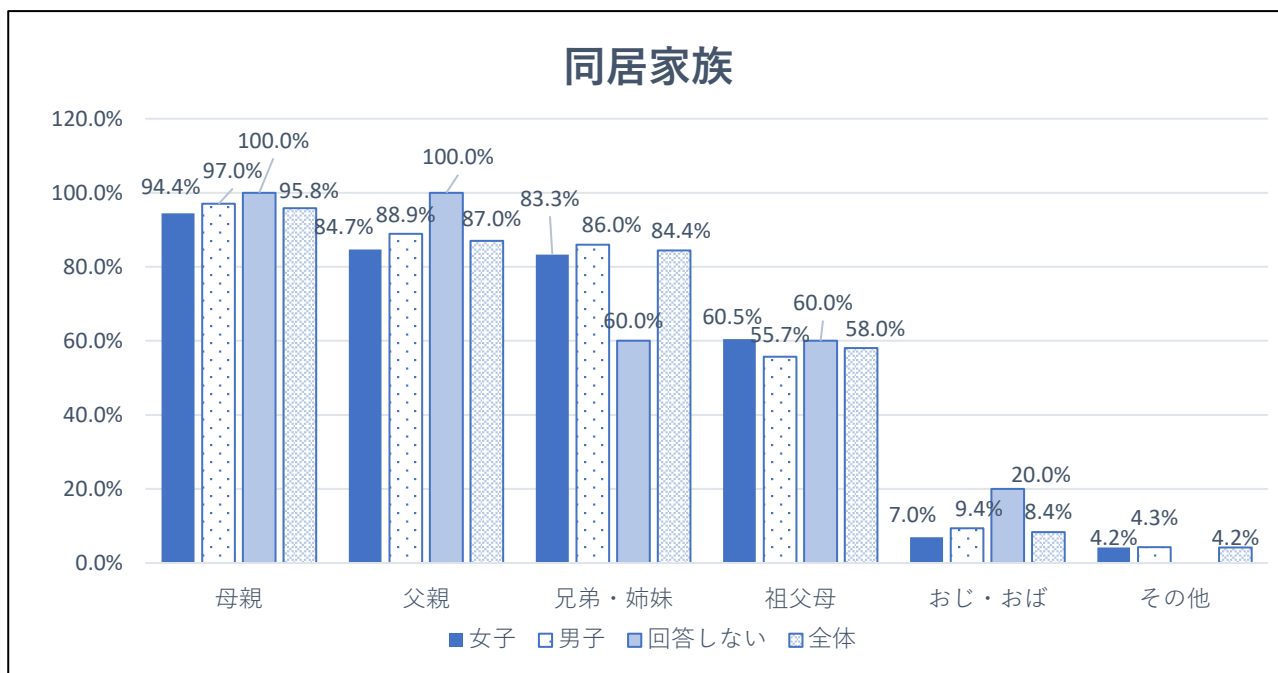
問1 あなたの性別を選んでください。  
 (女子215人 男子235人 回答しない5人 その他0人 合計455人)



□前回の調査(平成18年)との比較

	今回		前回
	回答数	割合	割合
女子	215	47.3%	47.3%
男子	235	51.6%	52.7%
回答しない	5	1.1%	-
その他	0	0.0%	-
無回答	0	0.0%	-
計	455	100.0%	100.0%

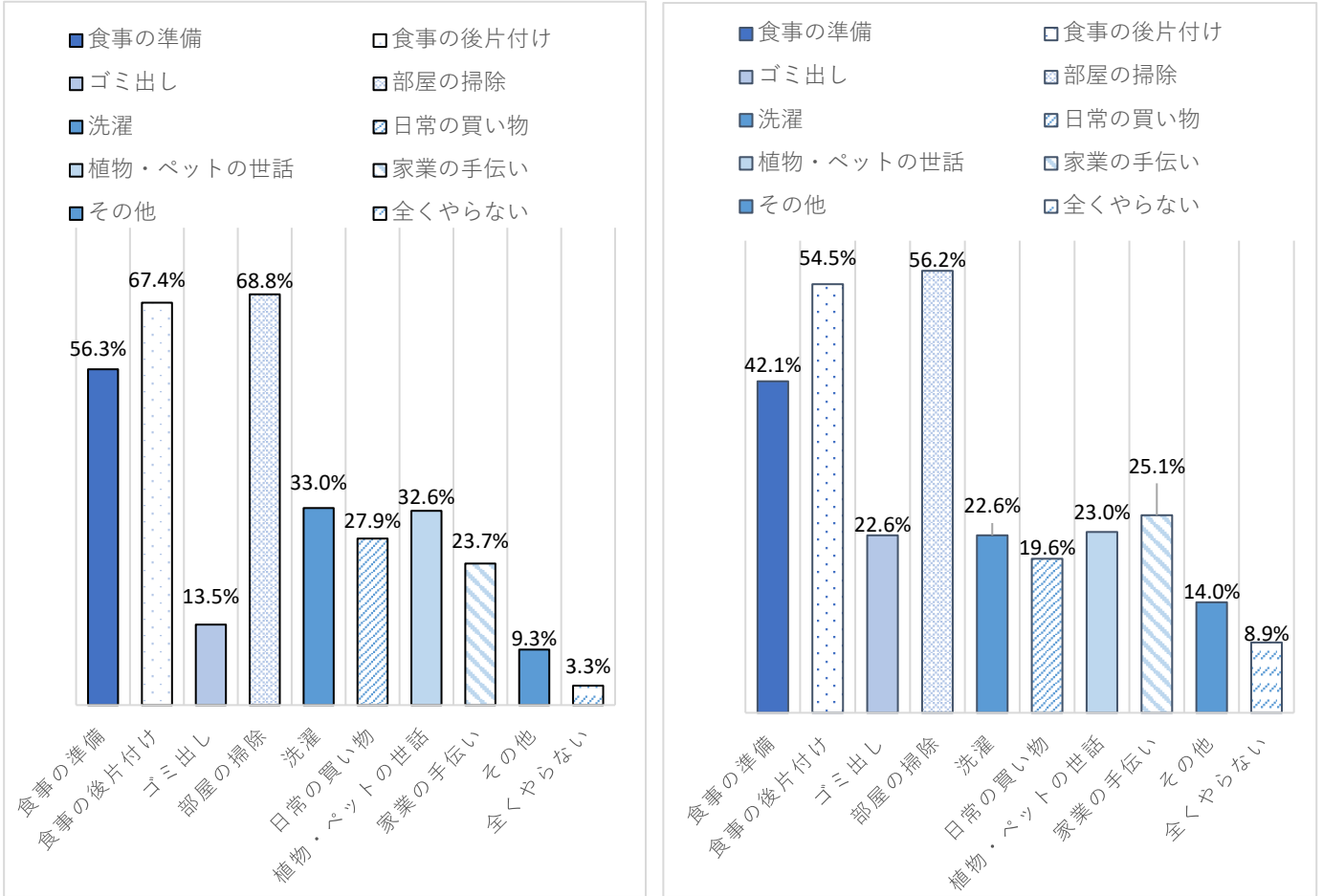
問2 あなたは現在どなたと一緒に住んでいますか。あてはまるもの全てを選んでください。  
 (女子215人 男子235人 回答しない5人 合計455人)



□前回の調査(平成18年)との比較

	女子		男子		回答しない		合計		
	今回	前回	今回	前回	今回	今回	前回	今回	前回
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	回答数	割合	割合	割合
母親	203	94.4%	228	97.0%	5	436	95.8%	96.5%	
父親	182	84.7%	209	88.9%	5	396	87.0%	88.8%	
兄弟・姉妹	179	83.3%	202	86.0%	3	384	84.4%	87.5%	
祖父母	130	60.5%	131	55.7%	3	264	58.0%	76.2%	
おじ・おば	15	7.0%	22	9.4%	1	38	8.4%	6.8%	
その他	9	4.2%	10	4.3%	0	19	4.2%	9.1%	

**問3 あなたは、家庭でどのような手伝いをしていますか。あてはまる番号を全て選んでください。**  
 (女子215人 男子235人 回答しない5人 合計455人)



**\* その他の内容**

女子：お風呂掃除、兄弟の世話、布団敷、仏壇の御飯を下げる、カーテン閉め

男子：お風呂掃除、子守り、米研ぎ、トイレ掃除、農作業、やれと言われたこと

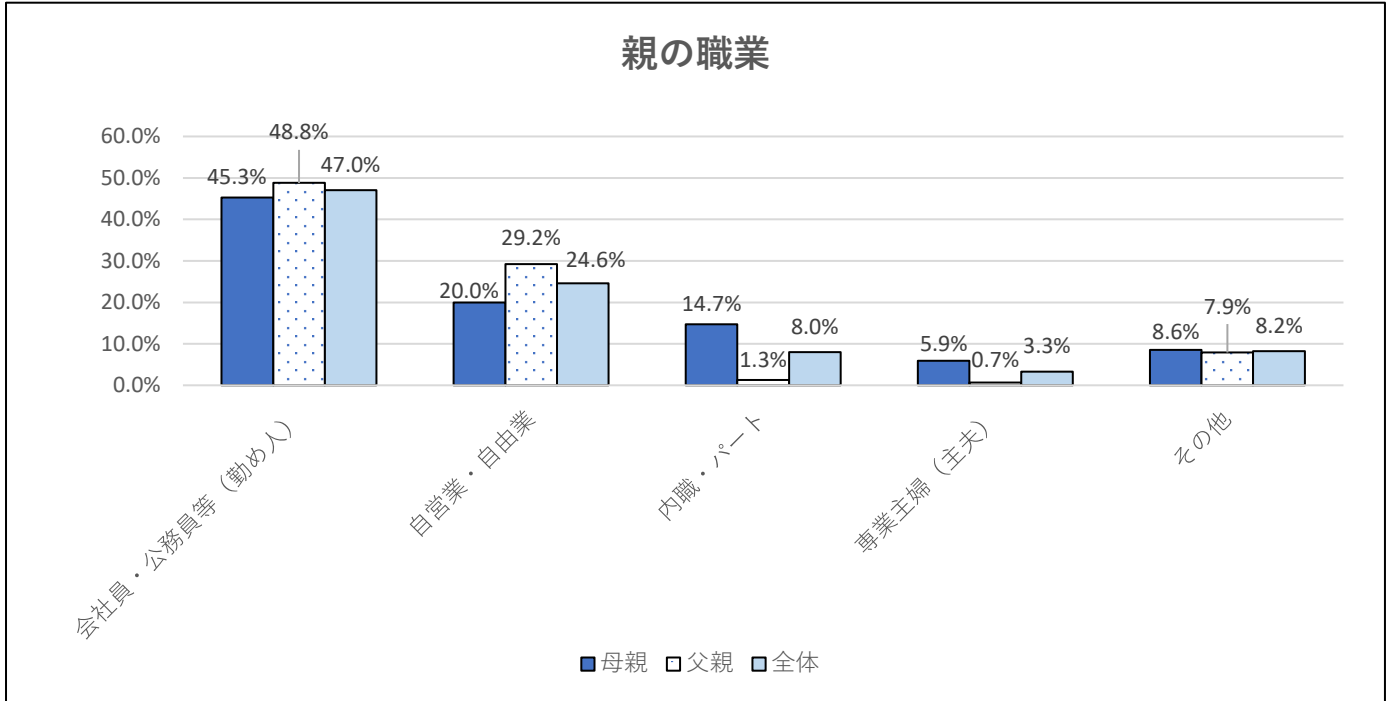
**【考察】**

男女別、全体的にみても「部屋の掃除」が最も高く、次いで「食事の後片付け」「食事の準備」の割合が高くなっています。

**□前回の調査 (平成18年) との比較**

	女子			男子			回答しない		合計		
	今回		前回	今回		前回	今回		今回		前回
	回答数	割合	割合	回答数	割合	割合	回答数	割合	回答数	割合	割合
食事の準備	121	56.3%	55.2%	99	42.1%	24.6%	2	40.0%	222	48.8%	39.0%
食事の後片付け	145	67.4%	68.3%	128	54.5%	50.3%	2	40.0%	275	60.4%	58.8%
ゴミ出し	29	13.5%	11.0%	53	22.6%	19.1%	1	20.0%	83	18.2%	15.3%
部屋の掃除	148	68.8%	63.7%	132	56.2%	53.0%	1	20.0%	281	61.8%	58.1%
洗濯	71	33.0%	24.1%	53	22.6%	15.3%	1	20.0%	125	27.5%	19.5%
日常の買い物	60	27.9%	28.4%	46	19.6%	16.9%	2	40.0%	108	23.7%	22.3%
植物・ペットの世話	70	32.6%	37.2%	54	23.0%	27.0%	2	40.0%	126	27.7%	31.8%
家業の手伝い	51	23.7%	19.5%	59	25.1%	21.6%	0	0.0%	110	24.2%	20.6%
その他	20	9.3%	7.6%	33	14.0%	11.2%	1	20.0%	54	11.9%	9.5%
全くやらない	7	3.3%	3.7%	21	8.9%	10.7%	1	20.0%	29	6.4%	7.3%
無回答	0	0.0%	0.3%	0	0.0%	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0.6%
計	722	-	-	678	-	-	13	-	1,413	-	-

問4 あなたの親の職業は、次のどれですか。それぞれ、あてはまる番号を1つ選んでください。  
 (女子215人 男子235人 回答しない5人 合計455人)



**【考察】**

母親・父親の合計でみると「会社員・公務員等(勤め人)」「自営業・自由業」「内職・パート」が全体の約8割(79.7%)となっており、共働きが多いのが分かります。

**□前回の調査(平成18年)との比較**

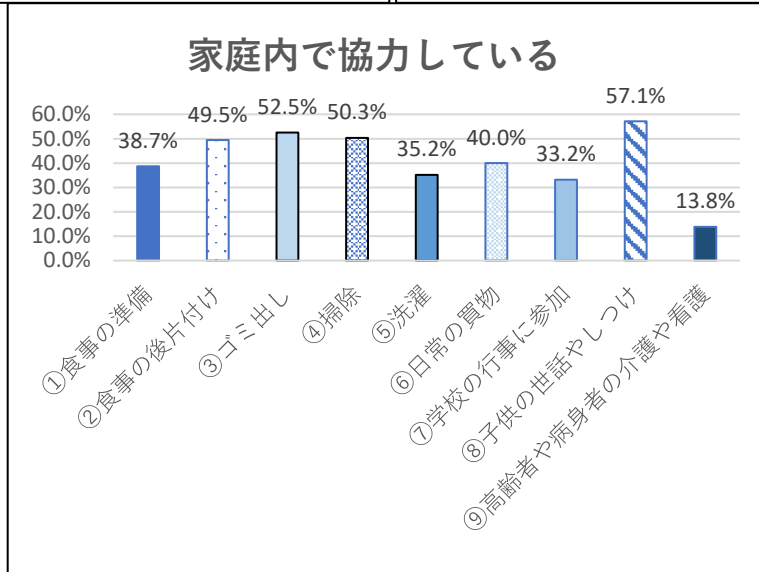
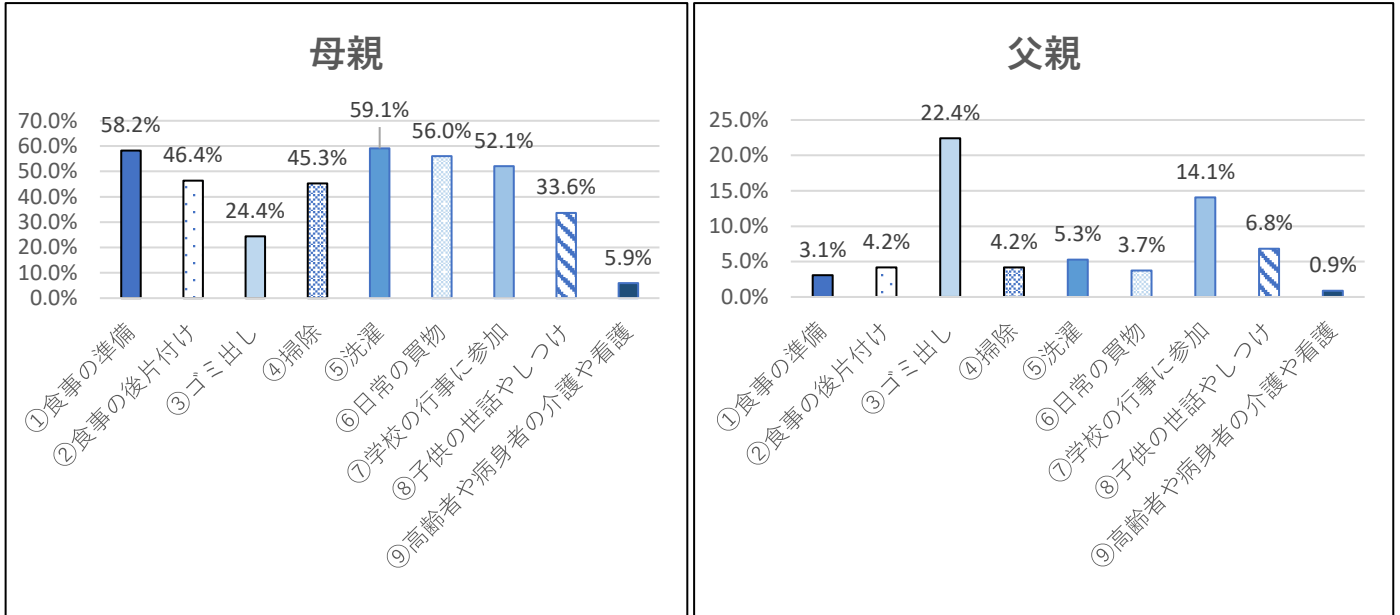
	母親			父親			合計		
	今回		前回	今回		前回	今回		前回
	回答数	割合	割合	回答数	割合	割合	回答数	割合	割合
会社員・公務員等	206	45.3%	45.0%	222	48.8%	66.9%	428	47.0%	—
自営業・自由業	91	20.0%	19.0%	133	29.2%	27.3%	224	24.6%	—
内職・パート	67	14.7%	17.3%	6	1.3%	0.3%	73	8.0%	—
専業主婦(主夫)	27	5.9%	9.2%	3	0.7%	0.3%	30	3.3%	—
その他	39	8.6%	5.9%	36	7.9%	3.7%	75	8.2%	—
無回答	25	5.5%	3.6%	55	12.1%	1.5%	80	8.8%	—
計	455	-	-	455	-	-	910	-	-





問5 あなたの家庭では、次にあげるような家庭の事柄を、母親と父親のどちらが主にかかわっていますか。それぞれの項目ごとに、下の枠の中から1つ選んでください。

(女子215人 男子235人 回答しない5人 合計455人)



【考察】

前回のアンケート結果と比べると、ほとんどの項目で、母親の（家庭の事柄の関わりの）割合が低くなっています。

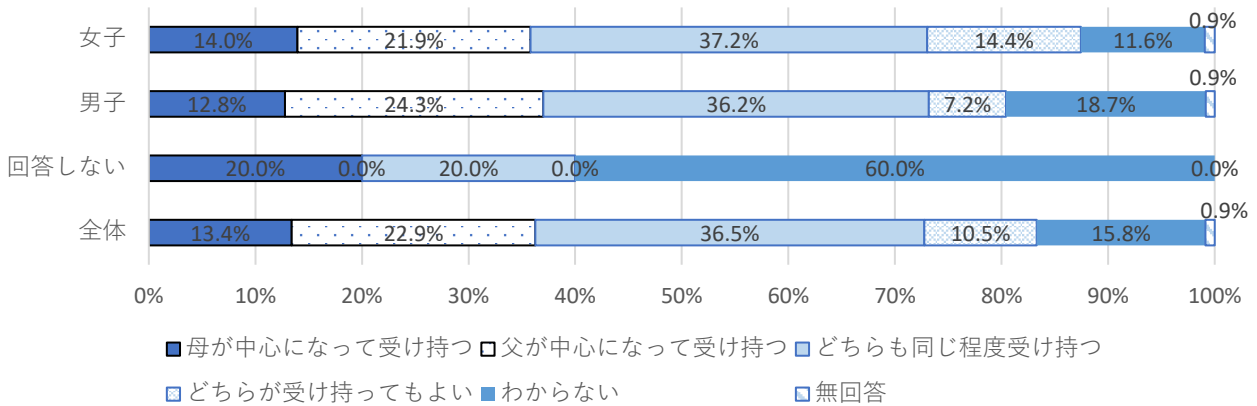
また、「ゴミ出し」「掃除」「子供世話やしつけ」は、家庭内で協力する割合が50%を上回っており、共働きがしやすい環境が家庭内で整ってきているのが分かります。

□前回の調査（平成18年）との比較

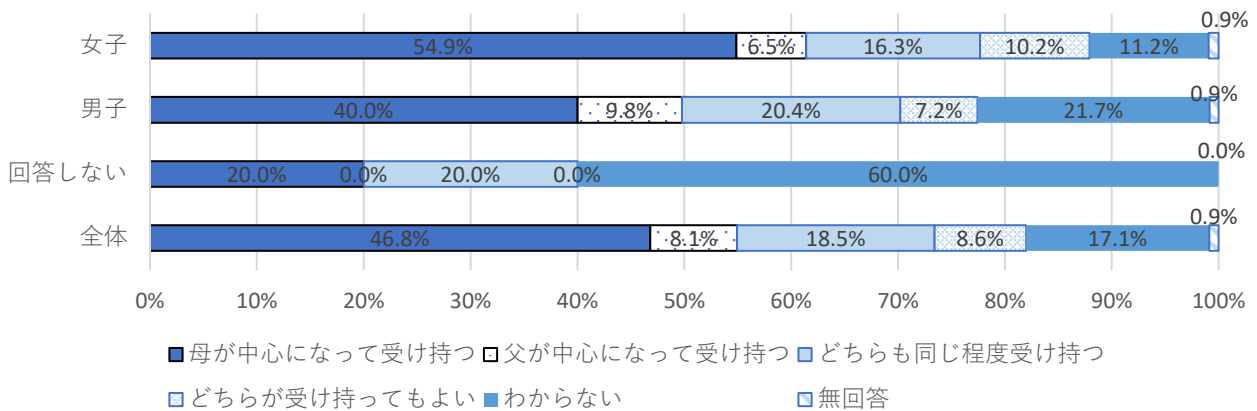
	母親			父親			家庭内で協力		
	今回		前回	今回		前回	今回		前回
	回答数	割合	割合	回答数	割合	割合	回答数	割合	割合
食事の準備	265	58.2%	89.0%	14	3.1%	6.9%	176	38.7%	—
食事の後片付け	211	46.4%	88.0%	19	4.2%	14.2%	225	49.5%	—
ゴミ出し	111	24.4%	46.5%	102	22.4%	21.7%	239	52.5%	—
掃除	206	45.3%	76.4%	19	4.2%	12.0%	229	50.3%	—
洗濯	269	59.1%	85.6%	24	5.3%	7.0%	160	35.2%	—
日常の買物	255	56.0%	85.8%	17	3.7%	12.5%	182	40.0%	—
学校の行事に参加	237	52.1%	49.2%	64	14.1%	20.4%	151	33.2%	—
子供の世話やしつけ	153	33.6%	72.9%	31	6.8%	49.8%	260	57.1%	—
高齢者や病身者の介護や看護	27	5.9%	13.2%	4	0.9%	5.3%	63	13.8%	—

問6 あなたは家庭での仕事の役割分担について、どのように考えますか。それぞれの項目ごとに、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。  
 (女子215人 男子235人 回答しない5人 合計455人)

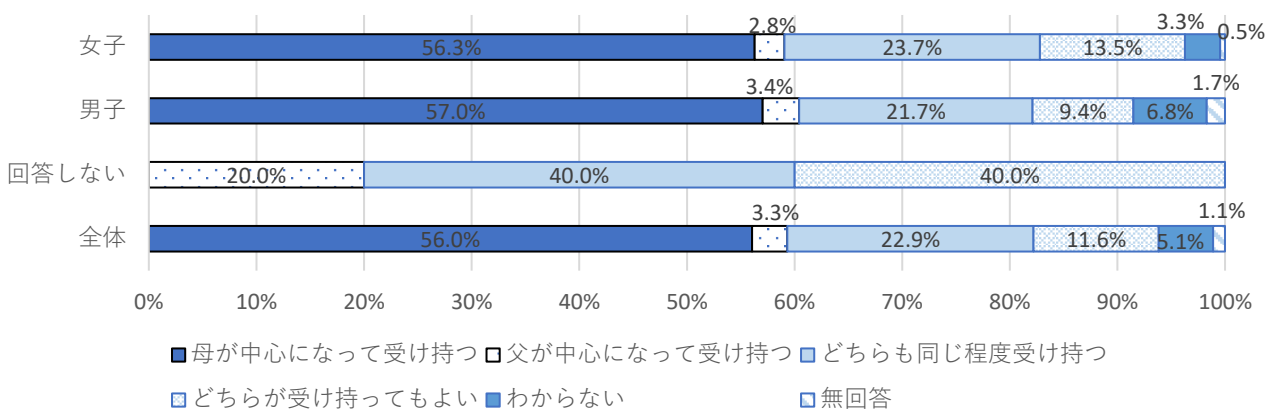
### ①生活費の収入を得る



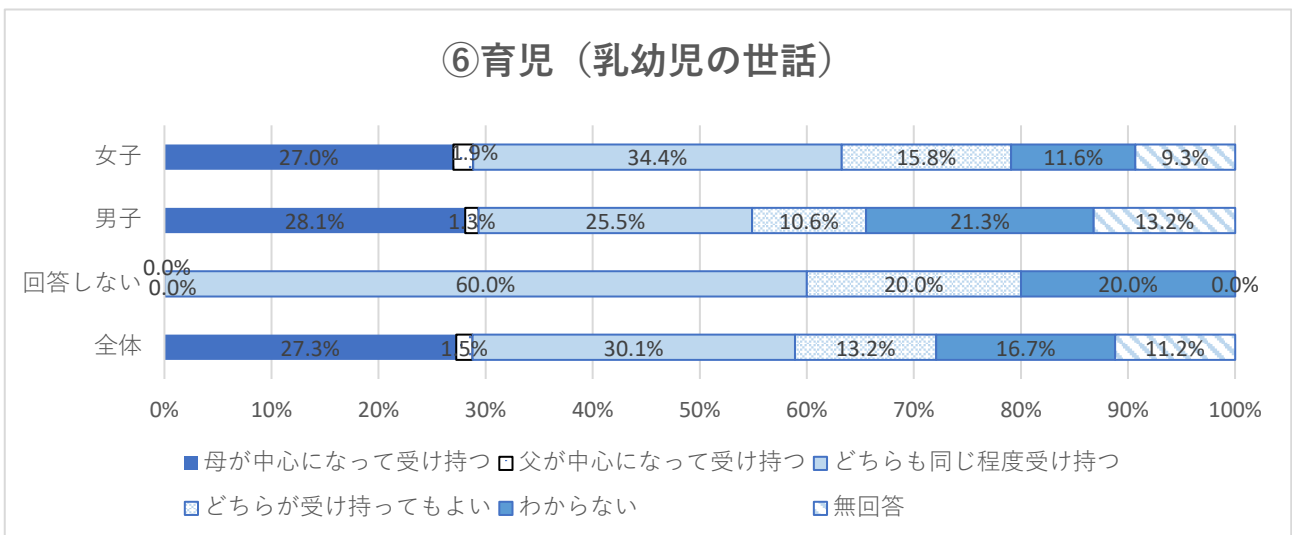
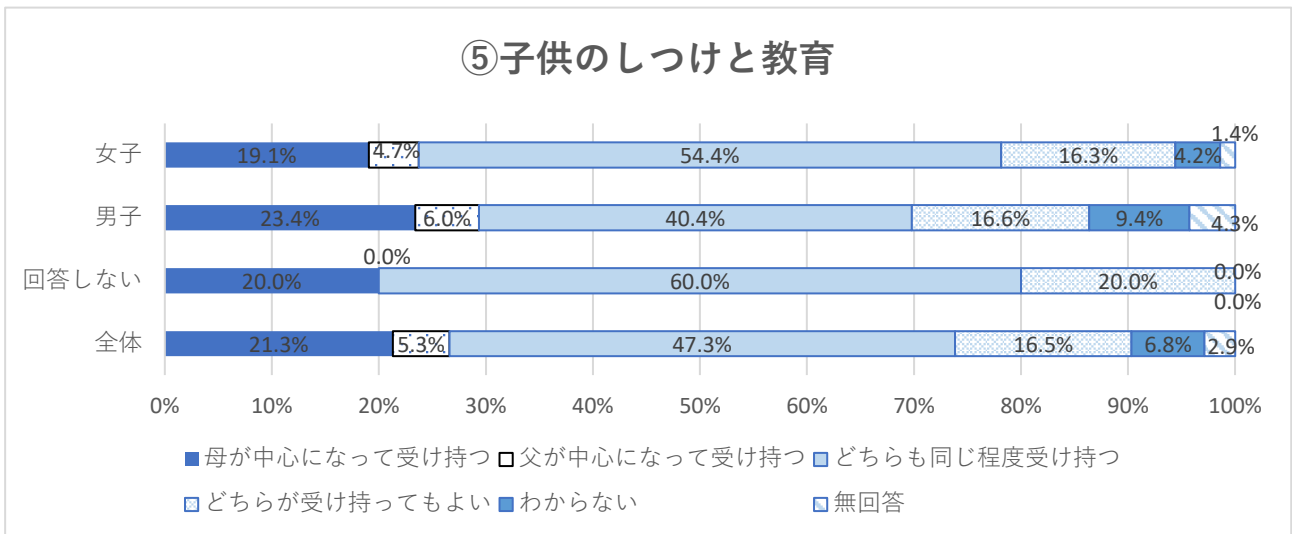
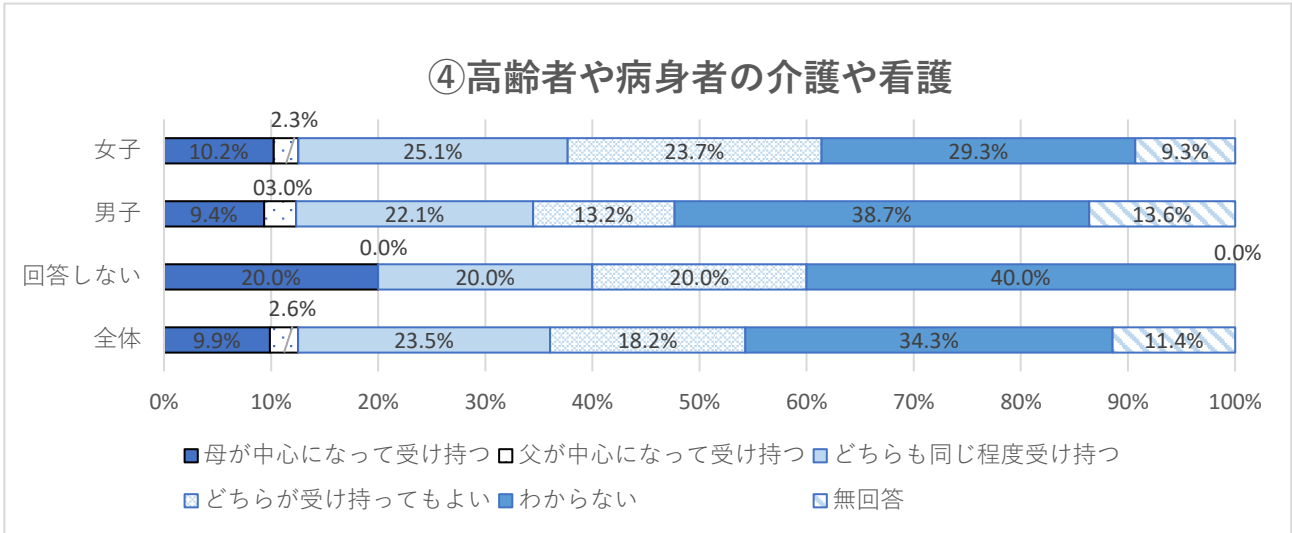
### ②家計の管理をする



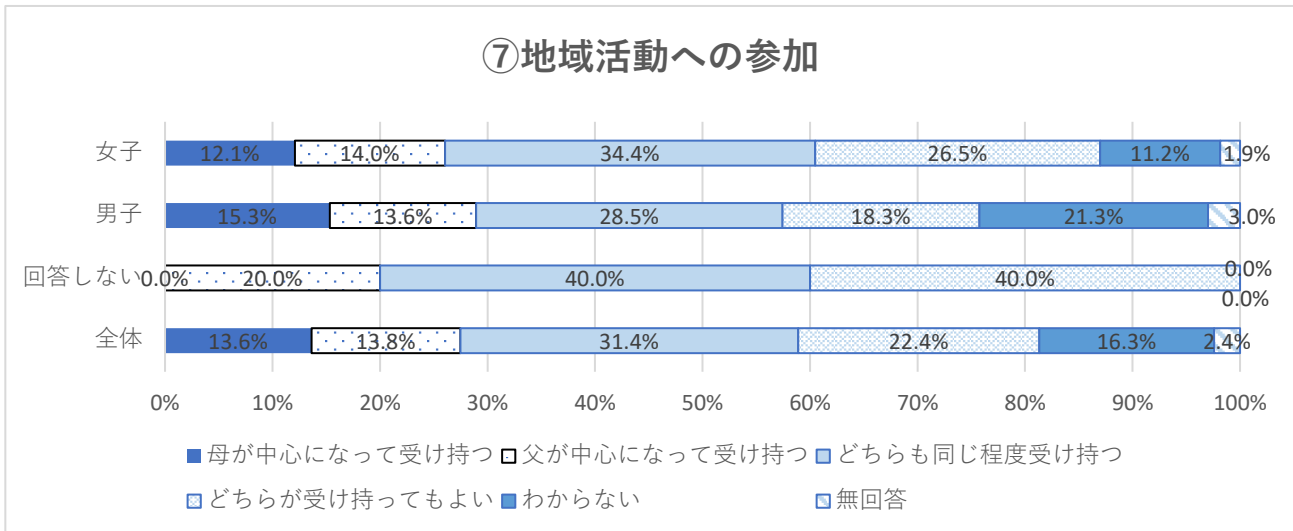
### ③日常の家事



問6 あなたは家庭での仕事の役割分担について、どのように考えますか。それぞれの項目ごとにあなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。  
 (女子215人 男子235人 回答しない5人 合計455人)



問6 あなたは家庭での仕事の役割分担について、どのように考えますか。それぞれの項目ごとに、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。



**【考察】**

「②家計の管理をする」「③日常の家事」の2つは、「母が中心になって受け持つ」が最も高い割合となっていますが、その他の「①生活費の収入を得る」「④高齢者や病身者の介護や看護」「⑤子供のしつけと教育」「⑥育児（乳幼児の世話）」「⑦地域活動への参加」は、全て「どちらも同じ程度受け持つ」が最も高くなっています。

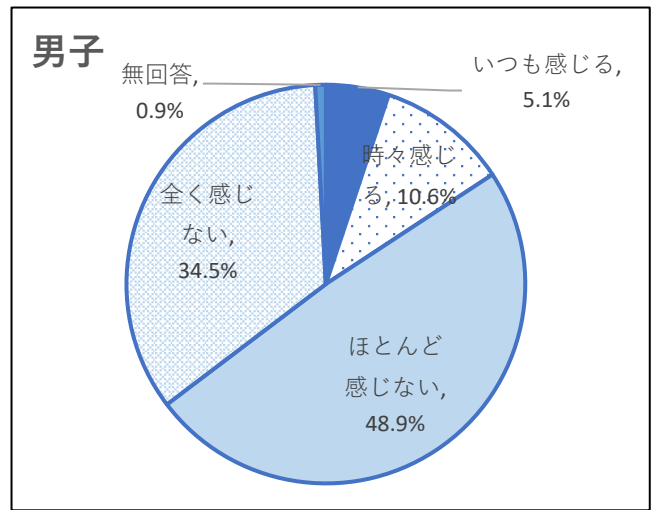
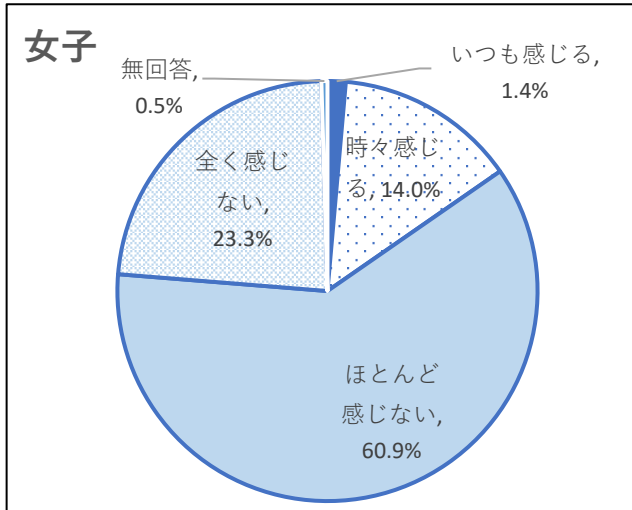
また、全ての項目において「どちらも同じ程度受け持つ」の割合が、前回のアンケート結果の割合よりも高くなっており、家庭内で協力することが、共働きがしやすい環境となるということを理解しているのが分かります。

**□前回調査（平成18年）との比較（全体での比較）**

	①生活費の収入を得る		②家計の管理をする		③日常の家事		④高齢者や病身者の介護や看護		⑤子供のしつけと教育	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
1. 母が中心になって受け持つ	13.4%	10.4%	46.8%	69.2%	56.0%	72.9%	9.9%	2.2%	21.3%	19.5%
2. 父が中心になって受け持つ	22.9%	45.4%	8.1%	4.5%	3.3%	2.2%	2.6%	23.2%	5.3%	6.5%
3. どちらも同じ程度受け持つ	36.5%	31.4%	18.5%	11.0%	22.9%	12.5%	23.5%	21.0%	47.3%	55.6%
4. どちらが受け持ってもよい	10.5%	4.3%	8.6%	3.6%	11.6%	6.8%	18.2%	14.1%	16.5%	10.4%
5. わからない	15.8%	8.1%	17.1%	11.1%	5.1%	4.2%	34.3%	28.7%	6.8%	6.9%
無回答	0.9%	0.4%	0.9%	0.6%	1.1%	1.4%	11.4%	2.8%	2.9%	1.1%

	⑥育児（乳幼児の世話）		⑦地域活動への参加	
	今回	前回	今回	前回
1. 母が中心になって受け持つ	27.3%	31.1%	13.6%	13.6%
2. 父が中心になって受け持つ	1.5%	0.7%	13.8%	13.8%
3. どちらも同じ程度受け持つ	30.1%	21.8%	31.4%	31.4%
4. どちらが受け持ってもよい	13.2%	6.8%	22.4%	22.4%
5. わからない	16.7%	26.2%	16.3%	16.3%
無回答	11.2%	13.4%	2.4%	2.4%

問7 あなたは学校生活の中で男女差別を感じることはありませんか。あてはまる番号を1つを選んでください。  
 (女子215人 男子235人 回答しない5人 合計455人)



【考察】

女子・男子・回答しないともに「ほとんど感じない」が最も高く、それぞれ女子60.9%と男子48.9%、回答しない60.0%で、次いで「全く感じない」（女子23.3%、男子34.5%、回答しない40%）となっています。

「いつも感じる」「時々感じる」を合わせて「感じる」と答えた人は、女子では15.4%、男子では15.7%となっています。

□前回の調査（平成18年）との比較

	女子			男子			回答しない		合計		
	今回		前回	今回		前回	今回		今回		前回
	回答数	割合	割合	回答数	割合	割合	回答数	割合	回答数	割合	割合
いつも感じる	3	1.4%	7.3%	12	5.1%	11.5%	0	0.0%	15	3.3%	9.5%
時々感じる	30	14.0%	17.7%	25	10.6%	20.2%	0	0.0%	55	12.1%	19.0%
ほとんど感じない	131	60.9%	65.2%	115	48.9%	51.1%	3	60.0%	249	54.7%	57.8%
全く感じない	50	23.3%	9.1%	81	34.5%	16.1%	2	40.0%	133	29.2%	12.8%
無回答	1	0.5%	0.7%	2	0.9%	1.1%	0	0.0%	3	0.7%	0.9%
計	215	-	-	235	-	-	5	-	455	-	-



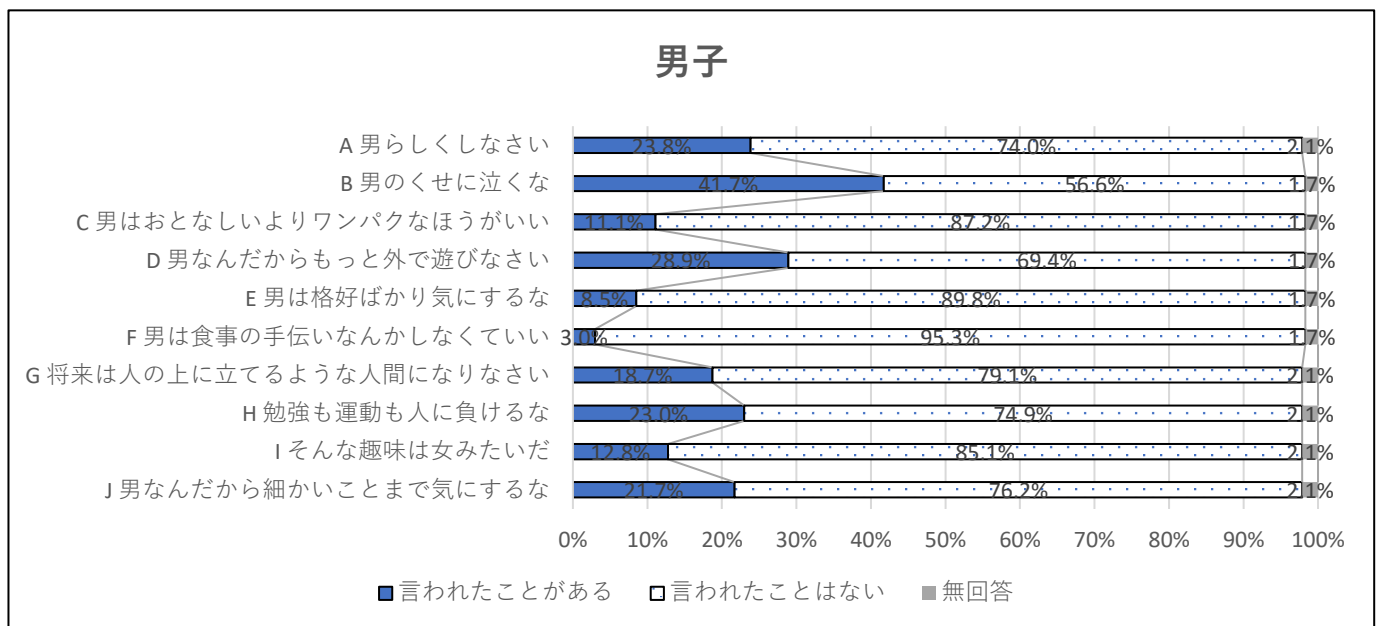
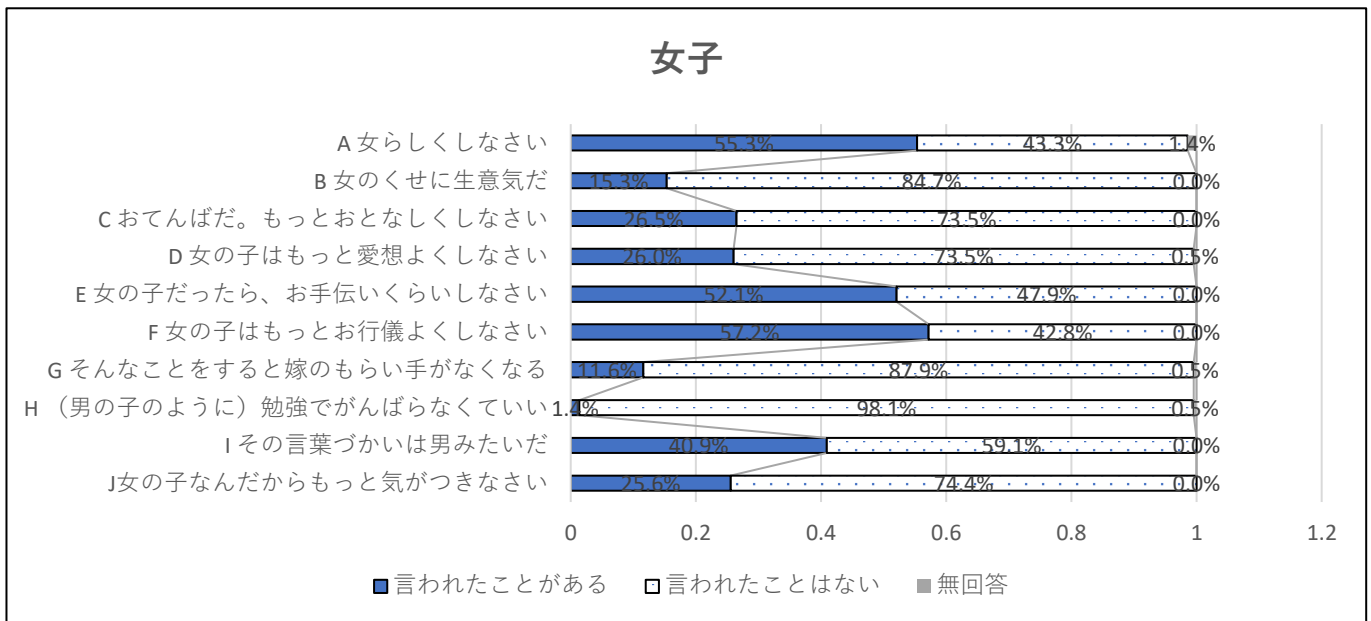
【問7で「1. いつも感じる」または「2. 時々感じる」を選んだひとだけ答えてください。】

問7-1 学校生活の中で男女差別を感じること(抜粋)

女子	男子
「男は～だ」「女は～だ」という性別で決めつけるような言い方を聞いた時	先生に指導される時に、男の方が言い方が強いし、ずっと言われる。女子は、あまり怒られない
日常で自由時間の時	女子しか更衣室がない
「女の子なんだからお手伝いしなさい。お行儀よくしなさい。」と言われる時	女はロッカーを使えて、男は教室の床に置く。女はエアコンのあるところで着替え、男はエアコンのないところで着替える。
忘れ物をした時の注意の仕方	男だから重い物を持つ、女だから軽いものを持つ
男だから力仕事しろとか聞いてたりすると、男でも力が弱い人だったり、いるのに可哀想だと思う	男子だから厳しく、女子だから優しくする先生を時々見つける。不平等だと感じる。
先生たちが女子には優しく男子には厳しくしている	忘れ物をした時の、男と女への態度の違い
男子は出来るけど、女子だから出来ないと決めつけられた時	休み時間などに男女に分かれたりする
制服の話をする時	男子が髪を短くしないとイケないこと
男女で接し方が大きく違う人を見たとき	女子ばかり愛想がよい
髪を短く切った時、トイレなどに入りづらくなった時	先生が何かを選ばせる時に女子が優先
皆の言葉や扱いやら。実力では私が勝っていても男子の方が強いという先入観で、下に見られることがある	授業中とか怒られる時とか
	女子にだけ優しくしている(先生)
体育で、男子はサッカーをしているのに女子はサッカーがありません	スポーツテストの点数
	別な話をしている時に注意されるのは基本的に男子
体カテストの点数	ペアを組む時や、日常会話



**問8** あなたはこれまでに次のようなことを言われた経験がありますか。  
 (女子215人 男子235人 回答しない5人 合計455人)



**【考察】**

女子は「女の子はもっとお行儀よくしなさい」と言われた経験のある生徒の割合が最も高く57.2%、次いで「女らしくしなさい」55.3%が高く、

男子は「男のくせに泣くな」と言われた経験のある生徒の割合が最も高く41.7%、次いで「男なんだからもっと外で遊びなさい」28.9%が高くなっています。



□前回の調査（平成18年）との比較

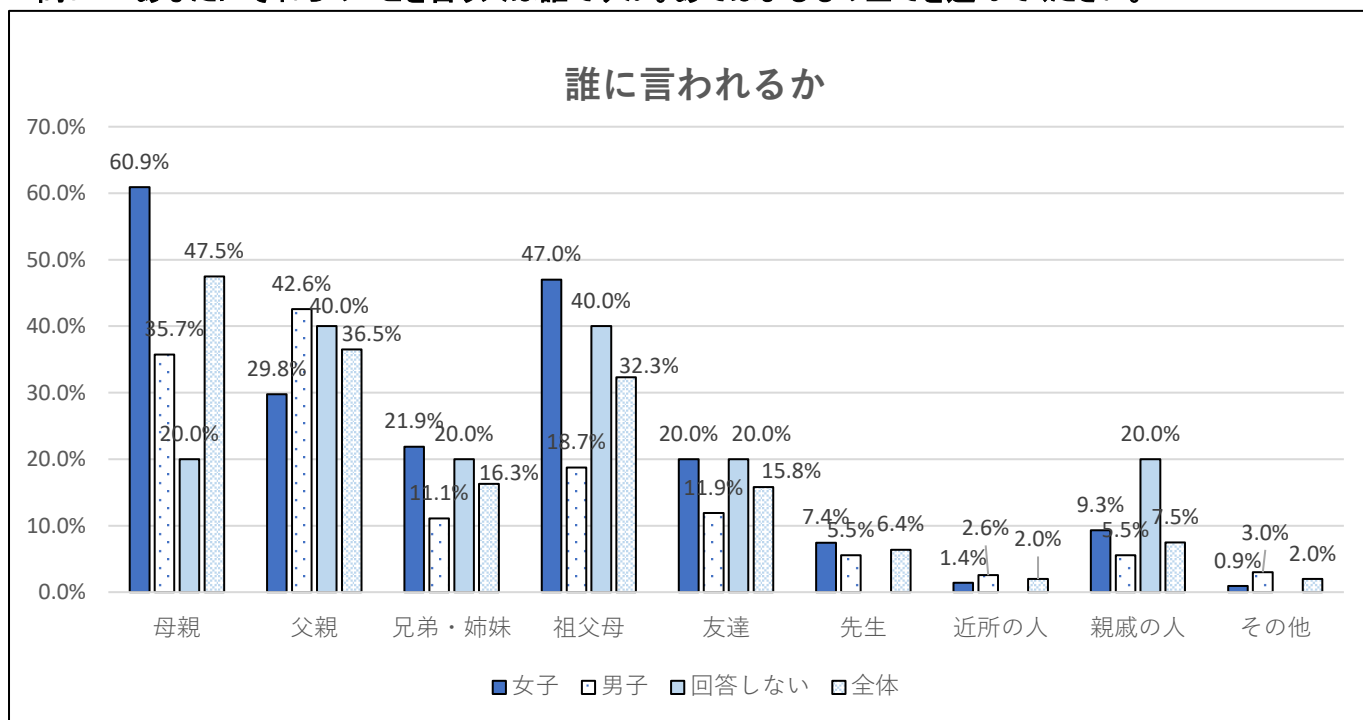
女子	言われたことがある			言われたことはない		
	今回		前回	今回		前回
	回答数	割合	割合	回答数	割合	割合
A 女らしくしなさい	119	55.3%	61.3%	93	43.3%	38.1%
B おんなのくせに生意気だ	33	15.3%	24.1%	182	84.7%	75.3%
C おてんばだ。もっとおとなしくしなさい	57	26.5%	39.0%	158	73.5%	60.4%
D 女の子はもっと愛想よくしなさい	56	26.0%	30.5%	158	73.5%	68.9%
E 女の子だったら、お手伝いしなさい。	112	52.1%	74.1%	103	47.9%	25.3%
F 女の子はもっとお行儀よくしなさい	123	57.2%	61.0%	92	42.8%	38.4%
G そんなことすると嫁のもらい手がなくなる	25	11.6%	18.0%	189	87.9%	81.1%
H (男の子のように) 勉強でがんばらなくていい	3	1.4%	4.6%	211	98.1%	94.8%
I その言葉づかいは男みたいだ	88	40.9%	56.4%	127	59.1%	43.0%
J 女の子なんだからもっと気が付きなさい	55	25.6%	36.0%	160	74.4%	63.4%

□前回の調査（平成18年）との比較

男子	言われたことがある			言われたことはない		
	今回		前回	今回		前回
	回答数	割合	割合	回答数	割合	割合
A 男らしくしなさい	56	23.8%	23.5%	174	74.0%	76.2%
B 男のくせに泣くな	98	41.7%	33.1%	133	56.6%	66.4%
C 男はおとなしいよりワンパクなほうがいい	26	11.1%	20.5%	205	87.2%	79.0%
D 男なんだからもっと外で遊びなさい	68	28.9%	31.7%	163	69.4%	67.8%
E 男は格好ばかり気にするな	20	8.5%	15.6%	211	89.8%	83.9%
F 男は食事の手伝いなんかなくていい	7	3.0%	2.2%	224	95.3%	97.3%
G 将来は人の上に立てるような人間になりなさい	44	18.7%	20.2%	186	79.1%	79.2%
H 勉強も運動も人に負けるな	54	23.0%	32.0%	176	74.9%	67.5%
I そんな趣味は女みたいだ	30	12.8%	5.2%	200	85.1%	94.3%
J 男なんがから細かいことまで気にするな	51	21.7%	22.4%	179	76.2%	77.0%

【問8で1つでも「1. 言われたことがある」を選んだひとだけ答えてください。】

問8-1 あなたにそれらのことを言う人は誰ですか。あてはまるもの全てを選んでください。



【考察】

男女別、全体的にみても、「母親」が最も高く、次いで「父親」、「祖父母」の順となっています。



□前回の調査（平成18年）との比較

	女子			男子			回答しない		合計		
	今回		前回	今回		前回	今回		今回		前回
	回答数	割合	割合	回答数	割合	割合	回答数	割合	回答数	割合	割合
母親	131	60.9%	85.1%	84	35.7%	72.1%	1	20.0%	216	47.5%	79.1%
父親	64	29.8%	44.9%	100	42.6%	66.3%	2	40.0%	166	36.5%	54.7%
兄弟・姉妹	47	21.9%	31.0%	26	11.1%	20.5%	1	20.0%	74	16.3%	26.2%
祖父母	101	47.0%	58.7%	44	18.7%	29.5%	2	40.0%	147	32.3%	45.3%
友達	43	20.0%	20.1%	28	11.9%	20.2%	1	20.0%	72	15.8%	20.1%
先生	16	7.4%	14.5%	13	5.5%	14.3%	0	0.0%	29	6.4%	14.4%
近所の人	3	1.4%	3.3%	6	2.6%	2.7%	0	0.0%	9	2.0%	3.0%
親戚の人	20	9.3%	15.8%	13	5.5%	11.2%	1	20.0%	34	7.5%	13.7%
その他	2	0.9%	5.3%	7	3.0%	3.9%	0	0.0%	9	2.0%	4.6%
計	427	-	-	321	-	-	8	-	756	-	-

問8-2 あなたはそう言われたときどう思いましたか。感想をお書きください。

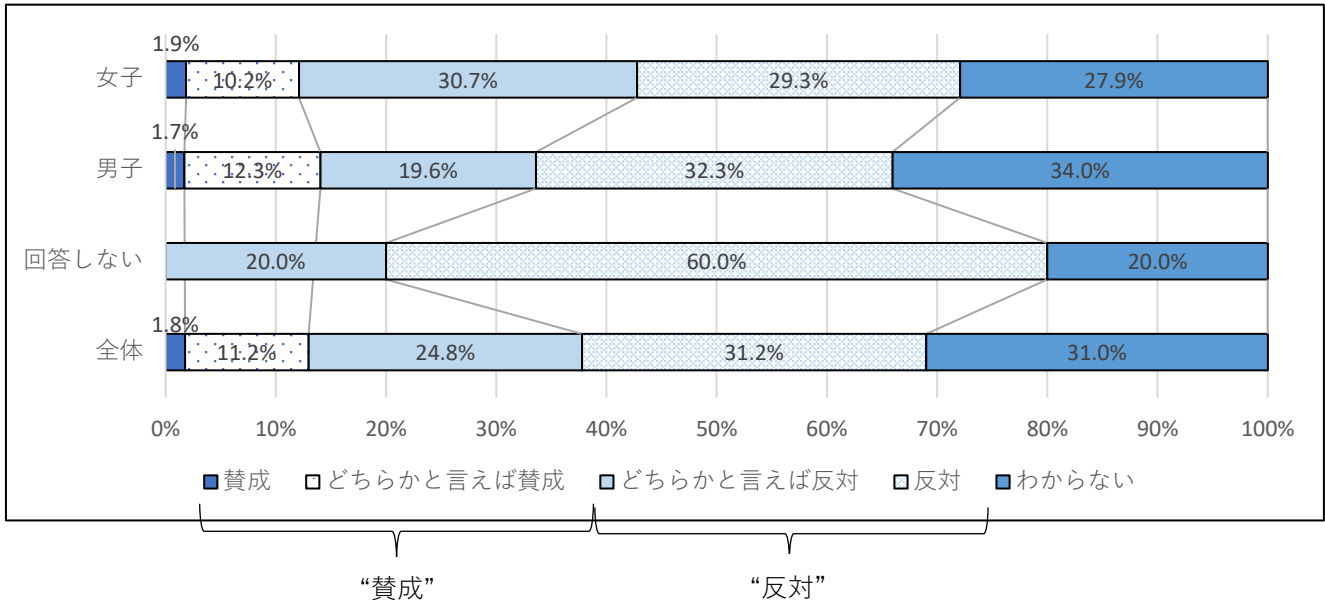
<p>女子</p> <p>なんで差別されなきゃいけないのか、と思いました。 昔から男みたいと言われていたので、なんとも思わない なりたくて女子になったわけじゃないのに、私は私 女だから男だからとか関係なしにみんな平等にして欲しいと思った 別になんとも思わない 嫌な感じはしなかった。たしかにそうだな、とかしか思わなかった 好きで女に産まれてきたんじゃない 「だから何？」と思った 本当に行儀が悪かったの、すぐに直した。 女の子だからと言って女らしくなくても良いと思ったし、そんなことを言ったら、その人の個性をつぶしてしまうと思った。 「女らしく」って何？ 人は皆違うんだからどうしようが自分の勝手ではないのかなと思いました。</p>
<p>男子</p> <p>男だからといのは変だと思った なんか知らんけど、めっちゃイラついた 別に男らしくなくてもいいんじゃない 自分らしさなんだからいいと思う 特に何も感じなかった 男は強く生きるものだと思った 人は人なのに何でそう言うのかな 別に男らしくなくても自分は自分じゃん 「そうなんだ。そうするんだ。」と思いました。 僕はもともと涙もろいので仕方ないと思った 別にいいでしょ、個人の自由で 男は泣いちゃダメなの、男って何 自分ではそんなつもりじゃないのに言われて傷ついた</p>



問9 あなたは「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どのように思いますか。

(女子215人 男子235人 回答しない5人 合計455人)

● 「反対」の割合が高い。(「反対」62.2%、「賛成」13.0%)



【考察】

今回は、「賛成（賛成・どちらかといえば賛成）」と答えた人の割合は13.0%で、前回の14.0%よりも1%減少し、「反対（反対・どちらかといえば反対）」と答えた人の割合は56.0%で、前回の36.7%よりも19.3%増加しています。

女性が活躍する場へ出ていくことの理解が広まってきているのが分かります。

□前回調査（平成18年）との比較

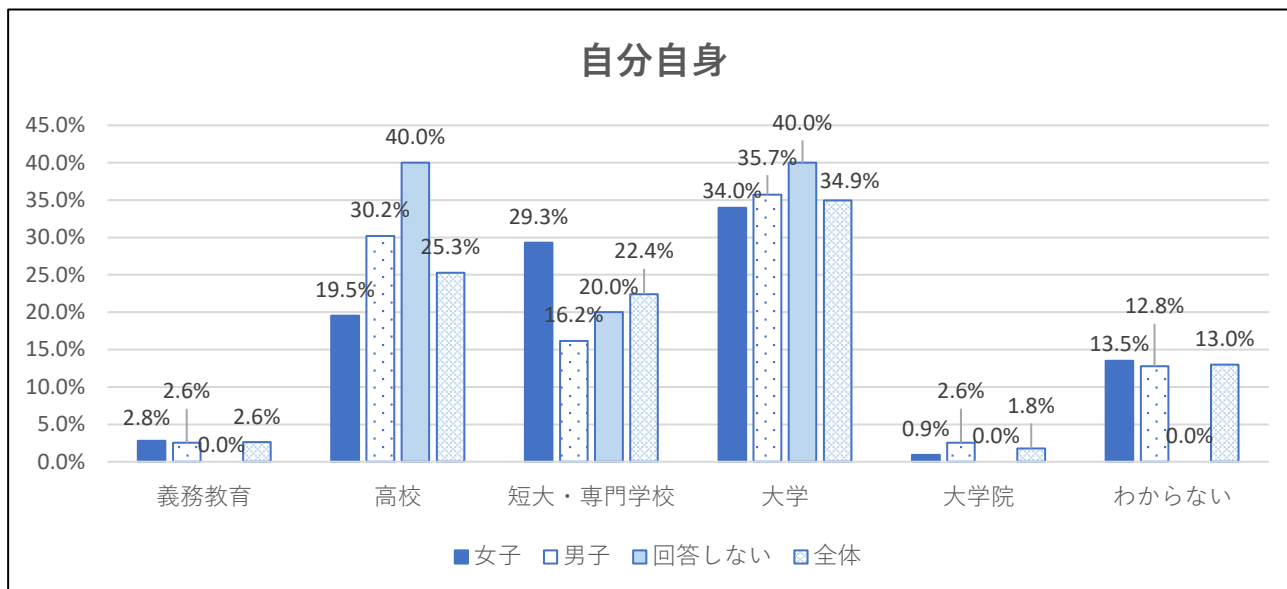
	女子			男子			回答しない		合計		
	今回		前回	今回		前回	今回		今回		前回
	回答数	割合	割合	回答数	割合	割合	回答数	割合	回答数	割合	割合
賛成	4	1.9%	10.4%	4	1.7%	17.2%	0	0.0%	8	1.8%	14.0%
どちらかといえば賛成	22	10.2%		29	12.3%		0	0.0%	51	11.2%	
どちらかといえば反対	66	30.7%	45.7%	46	19.6%	51.4%	1	20.0%	113	24.8%	36.7%
反対	63	29.3%	43.9%	76	32.3%	30.3%	3	60.0%	142	31.2%	
わからない	60	27.9%		80	34.0%		1	20.0%	141	31.0%	48.7%
無回答	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0.6%
計	215	—	—	235	—	—	5	—	455	—	—



問10 あなたは将来どの程度まで教育を身につけたいと思っていますか。またあなたの親はあなたにどの程度の教育を身につけさせたいと希望していると思いますか。それぞれ、あてはまるもの1つを選んでください。

(女子215人 男子235人 回答しない5人 合計455人)

《自分自身》



【考察】 《自分自身》

全体的にみると、「大学」が34.9%で最も高く、次いで「高校」（25.3%）、「短大・専門学校」（22.4%）の順となっています。

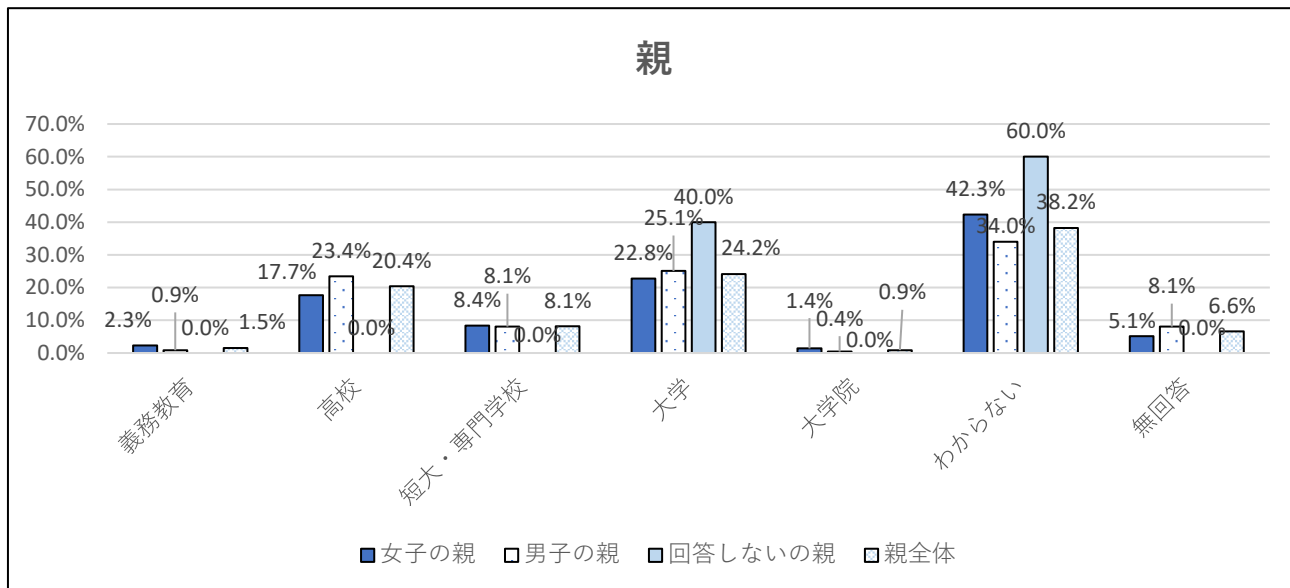
□前回調査（平成18年）との比較

	女子			男子			回答しない		合計		
	今回		前回	今回		前回	今回		今回		前回
	回答数	割合	割合	回答数	割合	割合	回答数	割合	回答数	割合	割合
義務教育	6	2.8%	1.5%	6	2.6%	1.6%	0	0.0%	12	2.6%	1.6%
高校	42	19.5%	25.6%	71	30.2%	41.0%	2	40.0%	115	25.3%	33.7%
短大・専門学校	63	29.3%	37.5%	38	16.2%	13.1%	1	20.0%	102	22.4%	24.6%
大学	73	34.0%	23.5%	84	35.7%	32.0%	2	40.0%	159	34.9%	28.0%
大学院	2	0.9%	2.4%	6	2.6%	2.2%	0	0.0%	8	1.8%	2.3%
わからない	29	13.5%	9.5%	30	12.8%	9.3%	0	0.0%	59	13.0%	9.4%
無回答	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0.4%
計	215	-	-	235	-	-	5	-	455	-	-



問10 あなたは将来どの程度まで教育を身につけたいと思っていますか。またあなたの親はあなたにどの程度の教育を身につけさせたいと希望していると思いますか。それぞれ、あてはまるもの1つを選んでください。

《親》



【考察】 《 親 》

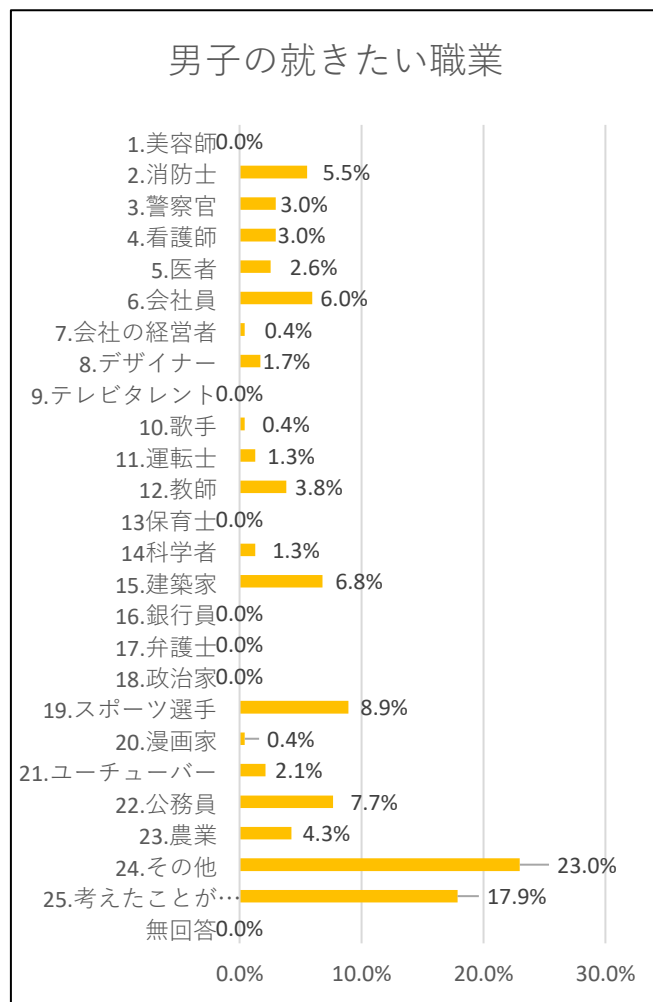
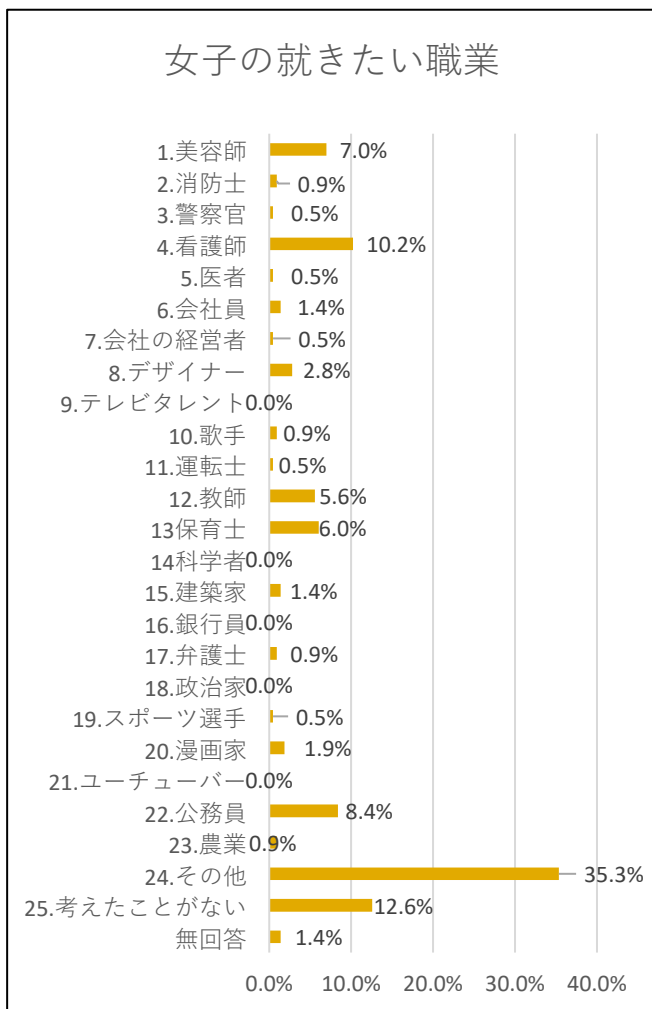
全体的にみると、「わからない」が38.0%で最も高く、次いで「大学」(24.0%)、「高校」(20.7%)、「短大・専門学校」(8.2%)の順となっています。

□前回調査(平成18年)との比較

	女子の親			男子の親			回答しないの親		合計		
	今回		前回	今回		前回	今回		今回		前回
	回答数	割合	割合	回答数	割合	割合	回答数	割合	回答数	割合	割合
義務教育	5	2.3%	1.5%	2	0.9%	1.6%	0	0.0%	7	1.5%	1.6%
高校	38	17.7%	25.6%	55	23.4%	41.0%	0	0.0%	93	20.4%	33.7%
短大・専門学校	18	8.4%	37.5%	19	8.1%	13.1%	0	0.0%	37	8.1%	24.6%
大学	49	22.8%	23.5%	59	25.1%	32.0%	2	40.0%	110	24.2%	28.0%
大学院	3	1.4%	2.4%	1	0.4%	2.2%	0	0.0%	4	0.9%	2.3%
わからない	91	42.3%	9.5%	80	34.0%	9.3%	3	60.0%	174	38.2%	9.4%
無回答	11	5.1%	0.0%	19	8.1%	0.8%	0	0.0%	30	6.6%	0.4%
計	215	—	—	235	—	—	5	—	455	—	—



問11 あなたが将来就きたい仕事や職業は何ですか  
(女子215人 男子235人 回答しない5人 合計455人)

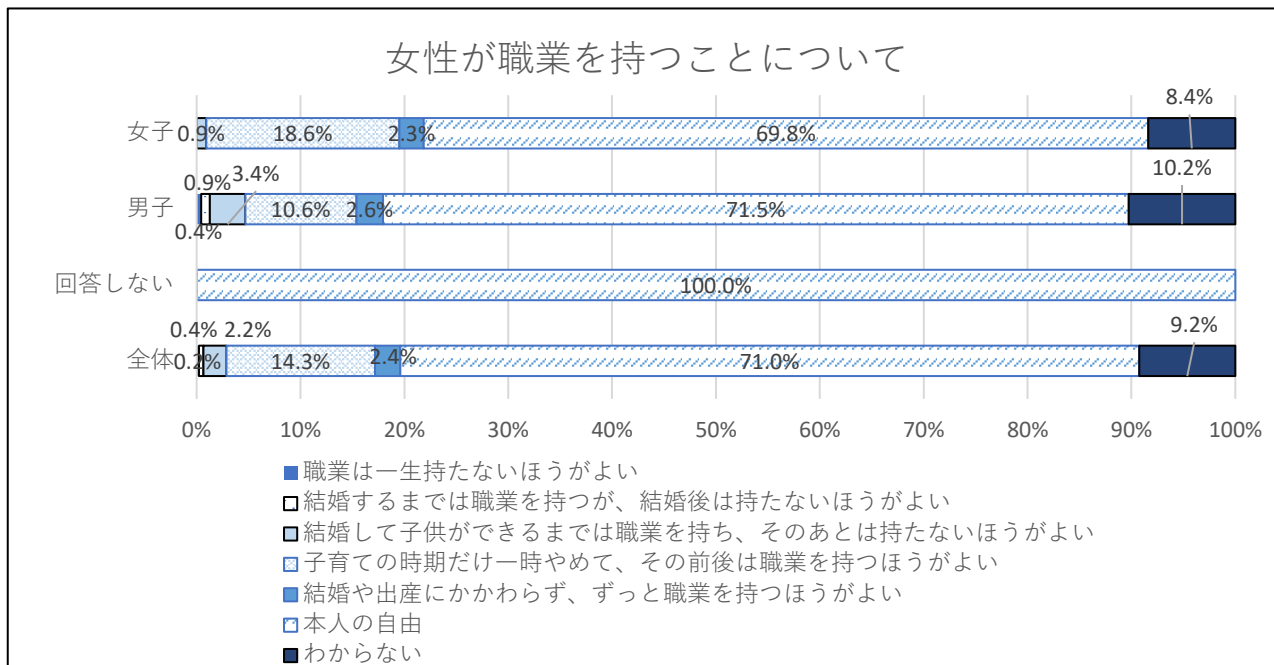


□前回調査（平成18年）との比較

	女子		男子	
	今回	前回	今回	前回
	職業	職業	職業	職業
1位	看護師	保育士	スポーツ選手	スポーツ選手
2位	公務員	動物関係（獣医、飼育係、トリマー等）	公務員	公務員
3位	美容師	看護師	建築家	会社員
4位	保育士	美容師・メイクアップアーティスト、教師	会社員	工業系、工学・機械・技術関係（整備士等）
5位	教師	料理人、パティシエ	消防士	消防士、テレビタレント、運転士、農業
その他	薬剤師、CA、獣医、パティシエ、トリマー、水族館の飼育員、スポーツトレーナー、通訳者、イラストレーター、理学療法士、柔道整復師など	管理栄養士、動物関係の仕事（獣医、トリマー）、編集記者、音楽関係（ピアノの先生）、考古学者、介護士、コンビニの店員、保健の先生、カメラマン	ホペイロ、水族館の飼育員、獣医、理学療法士、プログラマー、声優、ショップ店員、自動車整備士、作業療法士、ピアニスト、料理人など	機械関係（自動車整備、エンジニア）、皆を助けることができる人、コンピュータ関係（プログラマー）、釣具店、子供の夢を守る仕事

**問12 女性が職業を持つことについてあなたはどのように考えますか。あなたの考えに最も近い番号を1つ選んでください。**

(女子215人 男子235人 回答しない5人 合計455人)



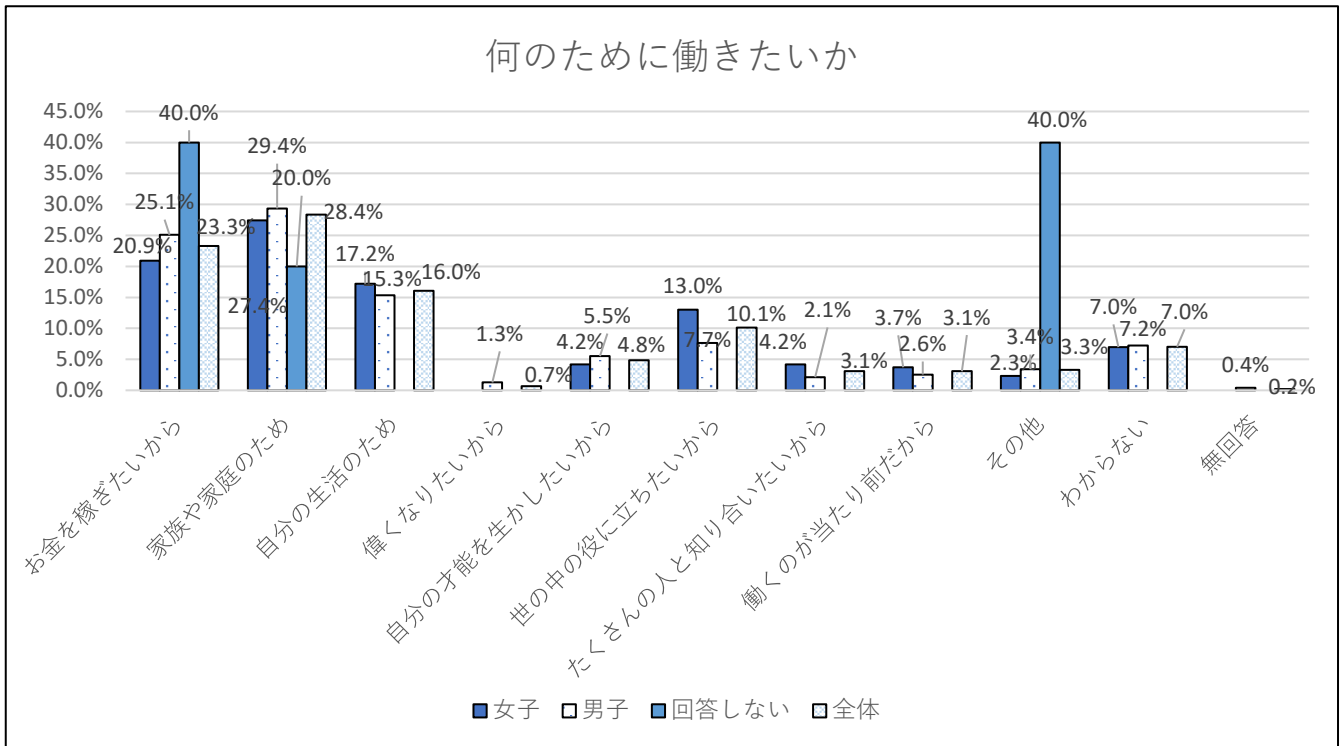
**【考察】**

全体的にみると、「本人の自由」が71.0%で圧倒的に割合が高く、前回の58.9%より12.1%高くなっています。女性の社会進出に対して、本人の意思を尊重する考えを持つ方が増えてきています。

**□前回調査（平成18年）との比較**

	女子			男子			回答しない		合計		
	今回		前回	今回		前回	今回		今回		前回
	回答数	割合	割合	回答数	割合	割合	回答数	割合	回答数	割合	割合
職業は一生持たないほうがよい	0	0.0%	0.3%	1	0.4%	1.1%	0	0.0%	1	0.2%	0.7%
結婚するまでは職業につくが、結婚後は持たないほうがよい	0	0.0%	4.6%	2	0.9%	6.8%	0	0.0%	2	0.4%	5.8%
結婚し、子どもができるまでは職業を持ち、そのあとは持たないほうがよい	2	0.9%	7.0%	8	3.4%	7.7%	0	0.0%	10	2.2%	7.3%
子育ての時期だけ一時やめて、その前後は職業を持つほうがよい	40	18.6%	18.9%	25	10.6%	10.4%	0	0.0%	65	14.3%	14.4%
結婚や出産にかかわらず、ずっと職業を持つほうがよい	5	2.3%	4.6%	6	2.6%	2.5%	0	0.0%	11	2.4%	3.5%
本人の自由	150	69.8%	58.5%	168	71.5%	59.3%	5	100.0%	323	71.0%	58.9%
わからない	18	8.4%	5.8%	24	10.2%	10.9%	0	0.0%	42	9.2%	8.5%
無回答	0	0.0%	0.3%	1	0.4%	1.3%	0	0.0%	1	0.2%	0.9%
計	215	—	—	235	—	—	5	—	455	—	—

**問13 あなたは何のために働きたいと思いますか。一番強く思うものを1つ選んでください。**  
 (女子215人 男子235人 回答しない5人 合計455人)



**【考察】**

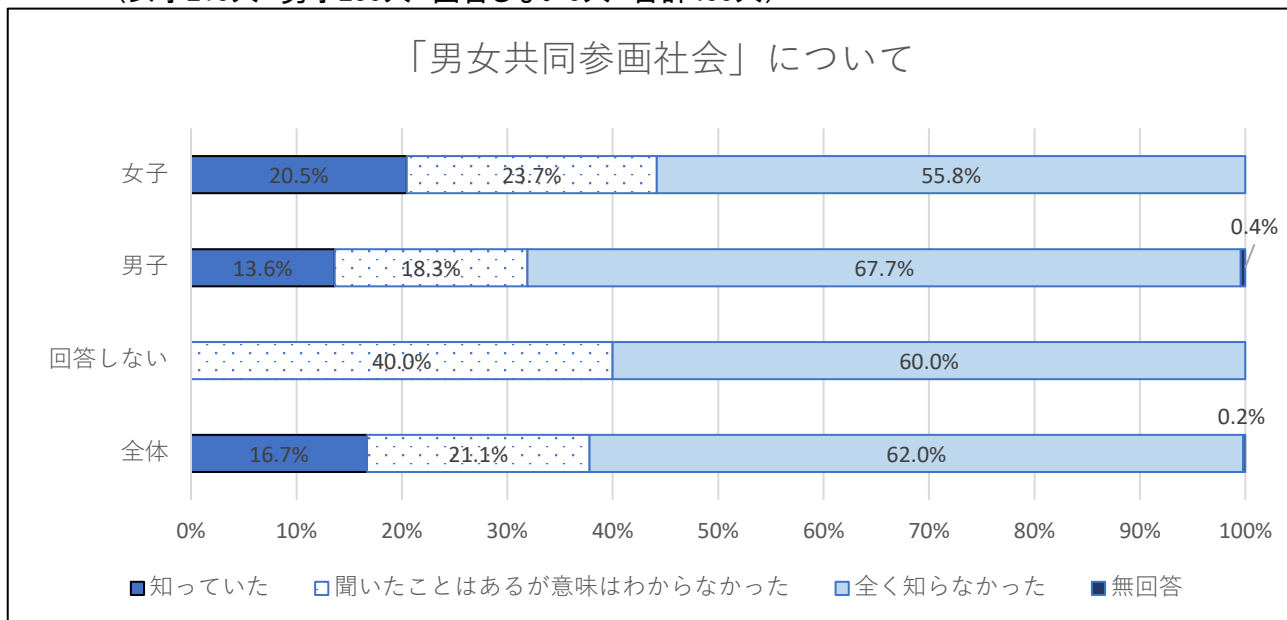
全体的にみると、「家族や家庭のため」が最も高く28.4%、次いで「お金を稼ぎたいから」23.3%、「自分の生活のため」16.0%の順となっており、前回の順位と同様となっています

その他の意見として「働いていない人が、とがめられている傾向にあるから」「好きなことをするため」「楽しむため」という意見がありました。

**□前回の調査（平成18年）との比較**

	女性			男性			回答しない		合計		
	今回		前回	今回		前回	今回		今回		前回
	回答数	割合	割合	回答数	割合	割合	回答数	割合	回答数	割合	割合
お金を稼ぎたいから	45	20.9%	12.8%	59	25.1%	19.1%	2	40.0%	106	23.3%	16.1%
家族や家庭のため	59	27.4%	24.7%	69	29.4%	32.2%	1	20.0%	129	28.4%	28.7%
自分の生活のため	37	17.2%	14.0%	36	15.3%	11.2%	0	0.0%	73	16.0%	12.5%
偉くなりたいから	0	0.0%	0.0%	3	1.3%	0.8%	0	0.0%	3	0.7%	0.4%
自分の才能を生かしたいから	9	4.2%	11.6%	13	5.5%	8.2%	0	0.0%	22	4.8%	9.8%
世の中の役に立ちたいから	28	13.0%	14.3%	18	7.7%	9.0%	0	0.0%	46	10.1%	11.5%
たくさんの人と知り合いたいから	9	4.2%	7.0%	5	2.1%	3.3%	0	0.0%	14	3.1%	5.0%
働くのが当たり前だから	8	3.7%	2.7%	6	2.6%	2.2%	0	0.0%	14	3.1%	2.4%
その他	5	2.3%	6.1%	8	3.4%	7.7%	2	40.0%	15	3.3%	6.9%
わからない	15	7.0%	6.1%	17	7.2%	4.9%	0	0.0%	32	7.0%	5.5%
無回答	0	0.0%	0.7%	1	0.4%	1.4%	0	0.0%	1	0.2%	0.2%
計	215	—	—	235	—	—	5	—	455	—	—

**問14 あなたは「男女共同参画社会」ということばを知っていますか。**  
 (女子215人 男子235人 回答しない5人 合計455人)

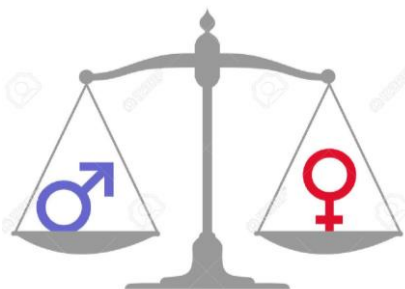


**【考察】**

「男女共同参画社会」という言葉を「知っている（知っていた・聞いたことはあるが意味はわからなかった）」人の割合は37.8%で、「全く知らなかった」人の割合は62.0%となっており、あまり認知されていないことが分かります。

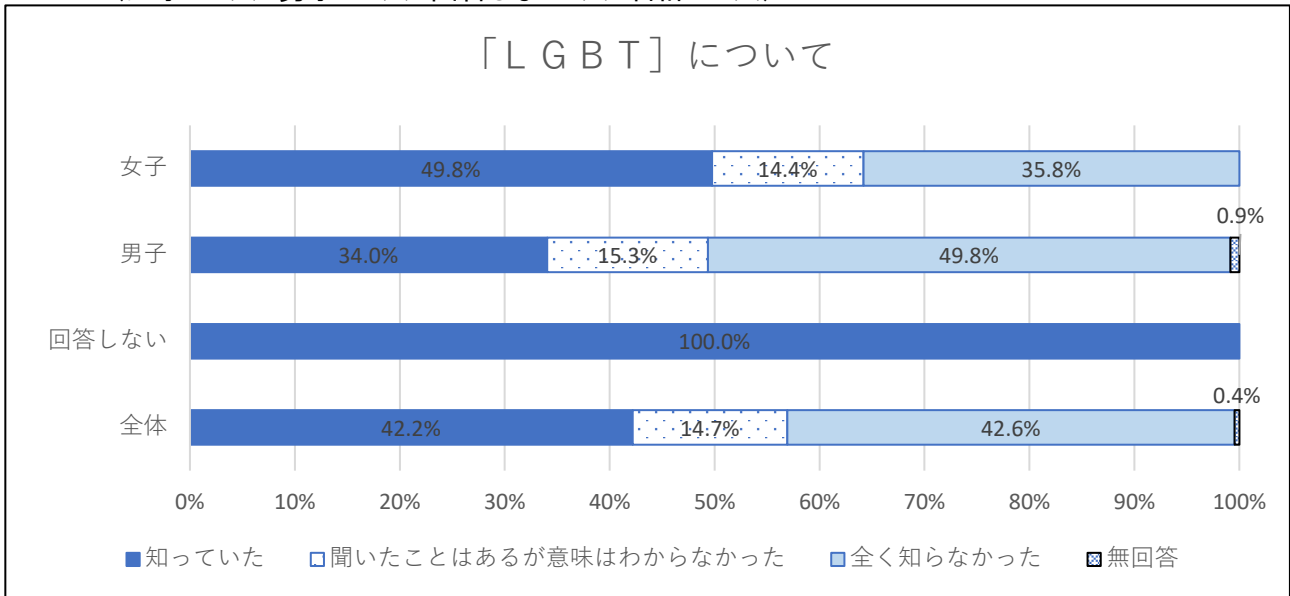
**□前回調査（平成18年）との比較**

	女子			男子			回答しない		合計		
	今回		前回	今回		前回	今回		今回		前回
	回答数	割合	割合	回答数	割合	割合	回答数	割合	回答数	割合	割合
知っていた	44	20.5%	2.7%	32	13.6%	6.8%	0	0.0%	76	16.7%	4.9%
聞いたことはあるが意味はわからなかった	51	23.7%	20.1%	43	18.3%	19.1%	2	40.0%	96	21.1%	19.6%
全く知らなかった	120	55.8%	76.5%	159	67.7%	73.0%	3	60.0%	282	62.0%	74.6%
無回答	0	0.0%	0.7%	1	0.4%	1.1%	0	0.0%	1	0.2%	0.9%
計	215	—	—	235	—	—	5	—	455	—	—





**問15 あなたは「LGBT」ということばを知っていますか。**  
 (女子215人 男子235人 回答しない5人 合計455人)



**【考察】**

「LGBT」という言葉を「知っている（知っていた・聞いたことはあるが意味はわからなかった）」人の割合が56.9%で、「全く知らなかった」人の割合42.6%を上回っています。

**□調査結果について**

	女子			男子			回答しない		合計		
	今回		前回	今回		前回	今回		今回		前回
	回答数	割合	割合	回答数	割合	割合	回答数	割合	回答数	割合	割合
知っていた	107	49.8%	—	80	34.0%	—	5	100.0%	192	42.2%	—
聞いたことはあるが意味はわからなかった	31	14.4%	—	36	15.3%	—	0	0.0%	67	14.7%	—
全く知らなかった	77	35.8%	—	117	49.8%	—	0	0.0%	194	42.6%	—
無回答	0	0.0%	—	2	0.9%	—	0	0.0%	2	0.4%	—
計	215	—	—	235	—	—	5	1	455	—	—



## 自由意見：「男女平等」に関することについて、日頃感じていることや、

学校や社会に要望したいことがありましたら、ご記入ください。

1	「女の子だから」「男の子だから」という言葉が少なくなってくれればいいなと思います。
2	LGBTQだからって馬鹿にするのは、よくないと思う。
3	女は女、男は男の壁を作らず、男女関係なしに関係をもって、苦手な人はそれはそれでいいと思うけれど、その理由が「女だから」「男だから」等にせず、一人ひとりが意見を持って関われるようにした方がいいと思います。
4	「男女共同参画社会」については、あまり深いことは人に聞くまで分かりませんでした。これからの世界は、男女関係なく1人の人間として見られていくのだと思います。男だから、女だから等は関係なしに自分の自由がいいとは思いますが。
5	男の子だからズボンの制服、女の子だからスカートの制服っていうのは少し違う。
6	「男は〇〇」とか「女は〇〇」とか「これだから男は」「これだから女は」とか、そういうのは考えたことは、あまりなかったが、そういうのが起きているのならやめてほしい。同じ人間だから。
7	「男だから」「女だから」という考えは人間としての成長が出来なくなる。
8	制服について、男だからズボン、女だからスカートという決まりはなくていいと思います。
9	自分の興味のある生徒だけ、すごい話しかけて、おとなしいひとには全然話しかけないのはやめてほしい。
10	この頃、女性が社会に出てきたって言う言い方は変化もしれないけれど、もっと女性が前に出れるように後押ししてあげたら、もっといいと思う。
11	男女平等は素晴らしい考えだと思います。どちらかに傾いてても世の中は上手に回っていきませんかからね。
12	男性専用車両もあっても良いと思う。女性にも優しく、男性にも優しい社会がいい。
13	女性が働きにくいところは、まだまだあるのかなと思い、昔の考えも良いけど性別だけで勝手に人の未来や職業を決めつけない社会になればいいと思った。
14	男の先生が男子にだけ厳しかったり、女子との距離が近かったりするのでやめて欲しい。平等に接してほしい。
15	楽しく生きる努力をしたい。
16	男だからどうこうとか、女だからどうこうではなくて、その人自身の人生なのだから周りが決めることではないと思います。自分の人生は自分自身で作っていくべきだと思います。
17	「女は～しなくてはならない」「男は～としなくてはならない」など古い考えを捨ててほしい。「〇〇は女性だから・・・」「男なんだから泣くな」などという言葉が家庭で聞きます。それを聞いていい感じはしませんでした。
18	男の制服を着るか、女の制服を着るか選べるようにしてほしい。

19	今、このコロナで栗原でも出たからリモート授業にした方がいいと思う。
20	部活の強制やめろ。
21	学校は、生徒が相談をしても解決してくれないので、しっかり解決して欲しい。そして、いじめでもない生徒に勝手に決めつけることもあるのでやめて欲しい。社会は、身長が低くても、個人差があるので何も言わないでください。（差別用語）
22	男、女、関係なく「平等」に接して欲しい。
23	先生が男と女で態度を変えるのはやめて欲しい。スポーツ面や勉強面で女性が輝ける機会をつくるべき。
24	コロナのワクチンが早く欲しい。休日が欲しい。税金を下げて欲しい。
25	みんな平等。
26	女性をトップに立たせてもいいのではないかな。
27	何で差別する必要なんかあるんですか（正論）。
28	差別と区別をはっきりしろ。
29	もう少しわかりやすく書いてください。少し質問が難しすぎます。
30	女の方が気にしていることを、男の方は、人のいるところでどうどうと言うのはなぜか。人の気持ちを考えもしない。その人は人間としての生き方を間違っている。男は男、女は女で別々で考えて欲しい。
31	そもそも男女の身体づくりや、考え方に差がある時点で完全に「同じ」とみることは出来ない（当たり前）。もちろん女性の方が身体に気を使わなければならないのは明白だし、男性もサポートするべきだろう。例えば、着替えの場所は女子がストーブのある部屋を使って当然だ。男子もいちいち文句を言っているわけにはいかない。しかし、個人の考え方、生き方、恋愛感などに他人が「男なんだから、女なんだから」と口を出してよいものでは決してない。これだから、いつまでたっても男女差別、と不満が絶えないのだ。『男女平等』とは「男と女を同じ動物として扱う」ということではなく、「互いの違いを尊重して“同じ一人の人間として”接する」ことだということをもっと多くの人が理解するべきだ。
32	このアンケート意味が分かりません。
33	男だって「スカートはきたい」って思っているし、女だって「男になりたい」と思っている人が居る。TVとかではみんな受け止めてくれるけど、いざ現実となると差別する。だからそんな人を減らして欲しいと思っている。例えば、学校では男女自由に服を着るとかをする。1人では怖いけど、みんななら安心していじめも減ると思う。世の中にはそんな人がけっこういるから、そうして欲しい。
34	男女平等にするのならちゃんと平等にして欲しい。例えば食事に誘っただけで、セクハラなど何もしていないのに痴漢とか言われると女性の方が強いため、そこをしっかりと。たまに女性だと割引されるみたいなキャンペーンがあるけど男性は？ってなります。

35	男の子らしく、女の子らしくなど、本人の自由で良いことだと思う。自分の性格はすぐに変えられるわけもない。LGBTで差別する人たちもいなくなれば良いと思う。別に気持ち悪いことでもないし、性別が違うだけ。なのに、なぜ差別されてしまうのか。このようなことで差別するなど馬鹿らしい。
36	差別なく社会で行動できるようになればとてもいいな、と思います。女性が位の高い役職につくことは、なんらおかしくないと思います。努力、実力で選ばれるべきだと思います。
37	男女平等は理想であって、実現することはない
38	男らしく、女らしくと言われても「らしさ」が分からない。個人の考え方を最後まで通せばいいと思う。
39	女は女らしく、男は男らしくということではなく、自分の好きなようにすればいいと思っています。
40	女性専用車両がある時点で男女平等ではないんじゃないか。（人によって考え方が違うけど）
41	女だから・・・とか男だから・・・というのは嫌いです。女だから守られているじゃなく守る方で、という社会にいずれなればいいなと思います。LGBTや性同一性障害などで人を差別したり気持ち悪いと思うのがなぜか分かりません。差別を受けるからLGBTが打ち明けられない人もいます。そういう人たちにとっても、私達にとってもすみやすい環境がほしいです。
42	学校でのグループ活動などで、僕は男女関係なく話しているけど、他の人が全く女子としゃべらない。なので社会的距離を保ちながら男女とわず関わればよいと思います。要望は、女性・男性限定の会社を作らなければもっと関わりがあり男女平等な社会になると思う。
43	男女平等は、とてもいいことだと思うし、賛成。しかし、女性が苦手な男性、男性が苦手な女性等、人さまざまなものがあるから、そういうことに関しては人それぞれ自由だと思う。
44	男女差別で苦しんでいる人もいるから。男女が平等に扱われたら良い社会になると思います。
45	制服が何か理由がない限り選べなかったり、結婚したら女の方が男の人の家に行って、義両親の介護、世話をしたりすること。平均年収がどの職業でも男性の方が100万円ほど高いこと。
46	性別が違うだけで差別などをする人達はしょうもない人たちなんだろうなと思いました。確かに男女で様々な差はうまれてしましますが、差別をしていい理由ではないと思いました。しっかりと区別と差別を見分ける力を身に着けるのが大切だなと思いました。
47	言い争いを聞いていると古い考えが多い気がする。
48	差別をなくす。
49	平等に合って欲しい。
50	この前、女に注意しないで、男には注意をしてくる「じじい」がいました。気持ち悪かったです。
51	いいと思う。
52	男女平等に見て欲しい。